2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	第二外国語1〔韓国語〕（Korean1）		
ナンバリングコード	A20311	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修･選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A029901	クラス名	－
担当教員名	高　文局		
履修上の注意、 履修条件	第二外国語1（韓国語）では特にありません。 何よりも「韓国語」を学びたいという熱意が最優先の条件です。		
教科書	『やさしい韓国語』　高　文局著　白水社		
参考文献及び指定図書	必要な資料はプリントにして配布します。		
関連科目	第二外国語2（韓国語）		

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験･中間確	提出物 （レポート･作品等）	無形成果 （発表･その他）
【関心･意欲･態度】	①ハングル文字に関する歴史や背景を理解する。		10点	10点
【知識･理解】	②ハングル文字の特徴などについて理解する。	70点		
【技能･表現･ コミュニケーション】	③ハングル文字を読めるように学習する。		5点	
【思考･判断･創造】	④韓国社会･文化についての理解を深め、異文化に対する新たな視点を身につける。		5点	

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験･レポート等の学習成果･課題のフィードバック方法）

［Sレベル］到達目標を満たしている。
［Aレベル］到達目標をほぼ満たしている。
［Bレベル］到達目標をかなり満たしている。
［Cレベル］到達目標を一部満たしている。
･レポートは、授業時に指示される記載注意事項に従って締切日まで提出してください。すべて提出した場合は、評価の対象とします。
･授業に欠席や遅刻･早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。
･教科書や配布資料の概説、演習問題と解答の提示を通して、授業内容や課題のフィードバックができるようにします。

○基本情報		
授業の目的	外国語を学ぶことの意義は、母語にのみ基づいた考え方、感じ方に新しい視点を導入し、世界の捉え方に変革をもたらすことにあります。大学では中学校以来学んできた英語に加えて別の外国語を学ぶことが望ましく、それは単に専門教育課程にとってのみならず、一般教養の一環としても大きな意味をもちます。なお、近年韓流ブームの流れのなか、韓国語に対する関心が高まっています。さらに、経済･社会･文化的な領域においてもさまざまな交流が行われており、第2外国語としての韓国語に対する社会的な需要も年々増えています。 本講義では、韓国語という言語だけではなく、韓国の社会･文化についても写真や映像などの資料を用いて学習し、異文化に対する理解を深めていくことを主な目的とします。	
授業の概要	第二外国語1（韓国語）ではまず、韓国語に対して抱いているイメージ、すなわち文字が記号みたいで分からない、発音が難しいといったイメージの克服を第一の目標として、ハングルの読み方や書き方を中心に学習し、文字の特徴から日本語との類似点や相違点などを理解してもらいます。また、教科書や配布資料の概説、演習問題と解答の提示を通して、授業内容や課題のフィードバックができるようにします。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「該当しない」
	（3）アクティブ･ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○その他

･欠席･遅刻はしないように心掛けましょう。止むを得ず欠席･遅刻をする場合は、事前に担当教員にメールなどを通して連絡してください。また、担当教員の研究室に寄り欠席した日の資料を受け取ってください。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	第二外国語1〔韓国語〕(Korean1)	授業コード	A029901
	担当教員	高　文局		

学修内容

1. オリエンテーションとハングルについて 授業の進め方や評価について説明します。 第1回目の授業では、韓国語の歴史的背景や言語としての全体像に迫ります。		
予習	ハングルの歴史的背景について調べる。	約2時間
復習	ハングルの歴史的背景を理解する。	約2時間
2. ハングルの字母 ハングル母音子音とその発音について学びます。 ハングルは、母音を表す21の文字と子音を表す19の文字の40文字から成っております。そのうち、基本母音10文字、基本子音14文字の24の基本文字があり、残りの文字はこの基本文字によって作り出された合成文字であります。授業内容について課題を出します。		
予習	ハングルの字母について調べる。	約2時間
復習	ハングルの字母について理解する。	約2時間
3. ハングルの構造と読み方について ハングルの構造と読み方を中心に、日本語との類似点や相違点について勉強します。 ハングルは、1字母が1音を表す単音文字(アルファベット)であります。同時に、それらの字母を2つないし3つ、あるいは4つ組み合わせて1文字を構成し、その1文字が1音節を表す音節文字でもあります。授業内容について課題を出します。		
予習	ハングルの読み方について調べる。	約2時間
復習	ハングルの読み方を理解する。	約2時間
4. 読み方や発音の練習 ハングル母音と子音の読み方や発音を覚えてもらいます。 韓国語の単語や会話表現を用いて、ハングルの構造や読み方についてもう一度説明し、実際読んでもらうことによって、難しいという韓国語に対するイメージの克服を目指します。		
予習	ハングルの発音などについて調べる。	約2時間
復習	ハングルの発音について練習する。	約2時間
5. 小テストと解説 第1回～第4回の授業内容についてテストを行います。またテストの模範解答を行い、解説します。		
予習	小テストに備える。	約2時間
復習	小テストの模範解答や解説を参考に復習を行う。	約2時間
6. パッチムの読み方や書き方について パッチムについて理解してもらい、発音の練習を行います。 今まで覚えてきたハングル母音と子音の発音や読み方を活用してみましょう。 自分の名前や単語、地名などを、ハングルを用いて書いてみましょう。 授業内容について課題を出します。		
予習	パッチムの読み方や書き方について調べる。	約2時間
復習	パッチムの読み方や書き方を理解する。	約2時間
7. 動詞の変化について 会話のなかで用いられる丁寧体について勉強します。 ここではまず、丁寧体のうち「叙述形終止語尾」について勉強します。 授業内容について課題を出します。		
予習	動詞の変化について調べる。	約2時間
復習	動詞の変化について説明できる。	約2時間
8. 動詞の類型について 動詞の類型とそれぞれの丁寧体について勉強します。 ハングル動詞の類型は、大きく4つに分けられます。その基本形と「叙述形終止語尾」を用いた丁寧体について勉強します。		
予習	動詞の種類について調べる。	約2時間
復習	動詞の種類について説明できる。	約2時間

○授業計画	科 目 名	第二外国語1〔韓国語〕(Korean1)	授業コード	A029901
	担当教員	高　文局		

学修内容

9. 動詞の否定形について 動詞の類型に従って、それぞれの否定形とその否定形の丁寧体について勉強します。 授業内容について課題を出します。		
予習	動詞の否定形について調べる。	約2時間
復習	動詞の否定形を理解する。	約2時間
10. 小テストと解説 第6回～第9回の授業内容についてテストを行います。またテストの模範解答を行い、解説します。		
予習	小テストに備える。	約2時間
復習	小テストの模範解答や解説を参考に復習を行う。	約2時間
11. ハングルの助詞について 韓国語と日本語との一番の類似点は、一部の例外を除いては語順が同じであることでしょう。ということは、基本的な単語と述語の変化をしっかり勉強すれば、簡単な文章や会話はできるということです。しかし、より韓国語らしい表現のためには助詞を覚えなければなりません。ここでは「て」、「に」、「を」、「は」について勉強します。授業内容について課題を出します。		
予習	ハングルの助詞について調べる。	約2時間
復習	ハングルの助詞について理解する。	約2時間
12. 冠形詞 日本語の「この」、「その」、「あの」にあたる単語を勉強します。これら自体は形が変わらず、必ず後ろに体言を伴って用いられます。こういうタイプの単語を冠形詞といいます。日本語と用法はよく似ています。授業内容について課題を出します。		
予習	ハングルの冠形詞について調べる。	約2時間
復習	ハングルの冠形詞について理解する。	約2時間
13. 前期のまとめと統括 作文を通じて、前期において習ったものをもう一度復習しましょう。 作文を通じて、ハングルの読み方や発音、助詞の使い方、冠形詞、用言(動詞・形容詞)の変化などについてもう一度復習します。		
予習	作文の練習問題を通して学習内容をまとめる。	約2時間
復習	作文の練習問題の解説などを通して学習内容を確認する。	約2時間
14. 小テストと解説 第11回～第13回の授業内容についてテストを行います。またテストの模範解答を行い、解説します。		
予習	小テストに備える。	約2時間
復習	小テストの模範解答や解説を参考に復習を行う。	約2時間
15. 自己点検授業 授業で学習した内容の総括を行い、学生自身に学習達成の程度を自己点検させます。学習目標が達成されているかを、個々の学生の成績評価を示して説明します。		
予習	ノートを整理することで今までの学習内容をまとめる。	約2時間
復習	自己点検を通して、学習が足りないところをチェックし学習する。	約2時間
16. 期末試験		
予習		
復習		